



講師:前静岡県立大学学長
西垣 克 様

「不安な社会に、どう健康に生きるか」

- ・不安とは何かから始まり、長寿社会の課題や種の起源に話しが繋がっていく。
- ・DNAパターンや遺伝的分布、更には生命体の寿命について解説が続く。
- ・20万年前のネアンデルタール人の頃に死の認識が表れ、感情の動き、心の内面について解説が進む。
- ・貝原益軒、高野長英や緒方洪庵、福沢諭吉の時代に健康の概念がまとってきた事。石川啄木の詩歌に見る健康への洞察等に話しが展開していく。
- ・現代の医療に関する課題、医療サービスの考え方、また改めて健康をどう認識するのか。
- ・書や絵画に見る精神性についての説明など、健康を軸にして極めて幅広い観点からお話を進んだ。
- ・終わりに、過食の我々への警鐘、食料自給率改善についても話題が広がり、ロータリアンに対してもオピニオンリーダーとして新しい生き方について要請され締め括られた。

西垣先生は博覧強記であり、思いがけない視点で見ておられ、また専門用語も多く飛び出しましたが興味深いテーマで、お話を上手であったのであっという間の90分でした。



※卓話の全文はホームページにて掲載いたします。

講師プロフィール

西垣 克(1945年2月14日生まれ、大阪市出身)

学歴 :福岡県立小倉高校卒業後、

1970年 東京大学医学部保健学科卒業

1975年 東京大学大学院医学研究科博士課程単位修得満期退学

学位 :保健学博士(東京大学)

専門分野 :保健学、国際保健学、地域医療、病院管理

主な職歴 :東京大学医学部助手(1975)

東京大学大学院国際保健助教授(1992)

韓国高神大学大学院客員教授(1993)

ロシアSiberian Branch of International

Academy Highest School客員教授(1994)

静岡県立大学看護学部教授(1997)

日本福祉大学福祉経営学部教授兼執行役員(2003)

静岡県立大学学長(2005)

主な著書論文

「要介護者の歯科医療サービス利用に関する要因」

「全国集計から見た大腸がん検診の現状」

「近代社会保障制度の終焉」

「日本における医療福祉制度の動向」

◆各クラブの参加人数

静岡RC…55名 静岡南RC…26名 静岡日本平RC…40名 静岡西RC…34名

静岡中央RC…24名 静岡北RC…23名 静岡東RC…50名

合計 252名